

Choho

長崎大学広報誌
[チョーホー]



高校生に
伝えたい

特集

卒業生が語る 長崎大学での 学び

- Vol.2 -

Nagasaki University
Collection

長崎大学コレクション

No.3



聴胸器

考案：ラエンネック

(製作年不明・1848年モーニック伝来)

フランス人医師ラエンネックが考案した最初期の聴診器。一見、木筒のように見えますが、3つに分解でき、組み立てられるようになっています。ヨーロッパ産のクルミの木でできており、1848年にモーニックが日本に持参しました。吉雄圭齋に贈ったといわれており、日本最古の聴診器と伝えられています。※分解した聴胸器は複製品です。

(長崎大学附属図書館医学分館所蔵)

Choho

長崎大学広報誌[チョーホー]

Vol.75

2021年4月1日発行

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/>

時代は今、動いている

時代を切り開くのは、常に若い人たち、つまり君たちです。

100年に一度の国難、世界最大級のパンデミックといわれる大変な時代ですが、新しい風は確実に吹いてきています。

例えば、新しい発想の音楽や小説。『夜に駆ける』でストリーミング累計3億回再生を記録したYOASOBIのボーカルikuraさんは、20歳の大学生です。また、21歳の大学生である宇佐見りんさんの『推し、燃ゆ』は、芥川賞を受賞しました。どんな時代でも、若い人たちが新しい発想で勇気を与えてくれます。



モート授業やICT基盤の運営が人と人を分断するという批判もあることは事実です。しかし、ウィズコロナの時代に、元通りの「昔」のやり方に戻ることはありません。君たちはまだ若い。昔を懐かしみ、旧来のやり方に固執する必要はないのです。上述の卓越した人たちは、時代のせいにはせず、乗り越えていこうとする人たちです。

君たちが夢に描くのは、すてきな先生と出会い、友達と肩を組んで歌を歌い、部活で一緒に叫び、失恋し挫折し、真剣に自分の将来を考えて勉強する……そんな大学生活かもしれません。

正直なところ、今これらを全部できるかといえば、できません。

しかし時代は、進み動くものです。若い力で、この閉塞感を打ち破ることができると思います。我々も全力で応援します。長崎大学は、若い皆さんを応援する組織なのです。必ず夜は明けます。ぜひ一緒に、前に進みましょう!

河野 茂

高校生に
伝えたい

特集

卒業生が語る 長崎大学での 学び

-Vol.2-

この春、新たな世界へ飛び込んだ
10人の卒業生たち。

学問のみにとどまらない大学での学びを
どのように探究し、視野を広げたのでしょうか。

目標が定まらずもがいた日々や、成長に至るターニングポイントなど、
それぞれが卒業を目前にして語ったエピソードをご紹介します。

将来大学生になる高校生の皆さんが
実りある大学生活を送るために、
ヒントとなる言葉を見つけてみませんか。

Graduates talk
about
Nagasaki University



CONTENTS

長崎大学広報誌
[チヨ-ホ-]
Choho Vol.75

本誌記事は長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌 Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。なお、「グラバー園譜」「研究最前線」コーナーについては一切の引用および転載を禁止しております。

学長室だより	時代は今、動いている	1	表紙のはなし
特集	卒業生が語る長崎大学での学び -Vol.2-	2	
Topics	福島が経験した複合災害を伝承	13	
地域で活かされる長崎大学の「知」	目に見えない空気を“読む” 越境大気汚染の解明への取り組み	15	
研究最前線	社会科教育の観点から分析する多様な社会問題 ／土肥大次郎	17	会話を楽しみながらキャンパスを歩く学生たち。今回は、コロナ禍により少なくなったワンシーンを、この春卒業した山本春さん、馬場大輝さん、生田結衣さんと友人のお2人にご協力いただき再現しました。
グラバー園譜	ホシセミホウボウ／山口敦子	19	
Information	公開講座情報 クイズ&編集後記	21	

授業や研究を通じて知った 子どもたちの心理 学校を楽しい居場所にしたい

1、2年次にもっと勉強していればよかった！ 実習で直面した反省をバネに採用試験まで頑張り抜きました。



入学時の私 /

教育学部 卒業 金築朋美さん

この春、長崎県の小学校教員となり、新たな一歩を踏み出す金築朋美さん。教員になることを強く意識し始めたのは、3年次だったそうです。「心理学を学びたい、そして教員免許を取りたいという気持ちは最初からありましたが、3年次になって本格的な実習が始まると、自分自身の勉強不足を痛感しました。それからは漠然と受けていた大学の授業も、子どもたちをイメージしながら理解を深められる

ようになりました。でもなかなか先生になる踏ん切りはつかなかったんです。それはなぜですか？ 「周りには、ピアノ、歌、絵など、子どもたちをすぐに喜ばすことができる特技を持った人が多いのですが、私にはそれがなくて、ずっとコンプレックスを持っていたからです。私と同じ思いをしている子どもたちは必ずいる。伝えられる経験や言葉があるかもしれない。一人一人の特性をしっかりと見極めて、温かく包み込める先生になる

う。そう気持ちを切り替えて決意したのは、採用試験に向けた特別講義が始まるタイミングでした」。

小学校教育コースの中でも、教育学と心理学に基づいた能力を形成する、子ども理解実践専攻（現在の「子ども理解系」）に在籍していたそうですね。「はい。子どもの気持ちや状態について深く学ぶ授業では、答えが一つではないケースも少なくありません。その都度悩んで先生や友人と議論を交わしました。卒論は子どもと養育者の関係について書きました。養育者との関係が良好でない子どもは愛着が薄く、自己肯定力が低い可能性があります。教員だからこそできる取り組みとして、私はまず子どもたちとたくさん話をし、たくさん遊んで信頼される先生になりたい。そういう先生に褒められることが、自分を認めることにもつながると思うからです」。

最後に目標を教えてください。「学校は、子どもたちが多くの時間を過ごす場所です。楽しくて安心できる居場所をつくってあげたいです」。

子どもたちの心理を読み解き、寄り添える先生になりたい。これからも学びは続きます。



KANECHIKU Tomomi



医学部ラグビー部のマネジャーを務めた金築さん。選手にとってより良い環境を考える中で、広い視野を持てるようになりました。

教育学部HP



人と人、文化と文化をつなぐ 言語の力を実感 多様な英語教育の実践を目指して

得意なはずの英語で思いを伝えられなかったもどかしさ。海外経験を経て心の殻を破ることができました。



入学時の私 /

多文化社会学部 卒業 山本 春さん

YAMAMOTO Haru

多文化社会学部HP



「英語だけは誰にも負けたくなかったので成績も良かった」と高校時代を振り返る山本春さん。得意分野を生かせる多文化社会学部で始まった学びは、順調な滑り出しだったと推測します。「いえ、特に話すことに関してはレベルの高い人たちがたくさんいるので、伝えたいことを伝えられないもどかしさに悩む日々でした。失敗してもいいから一歩踏み出してみよう、とにかく経験を積もう、そう思って参加したのが、外国人に日本語を教えるボランティアです。言語を教える過程で、人と人、文化と文化をつなぐ面白さを実感し、自分がやりたいことはこれだ！と答えを見つけた気がしました」。

それからはどのように動き出したのですか？

「多文化社会学部では、高校の教員免許（英語）と日本語教員基礎資格を取得できます。その2つの取得を目指すため、時には休み返上で勉強に時間を費やしました。やると決めたら突き詰めないと納得がいかないタイプなので、勉強と並行してカンボジアにある日本語学校で海外インターシップも経験しました」。

濃密な学生生活だったんですね。「はい。他にも、日本語で英語を教える場合と英語で英語を教える場合の違いを知りたいと思い、1年間休学してオーストラリアの言語学校に留学しました。母語が英語でない人向けに英語を教えるためのTESOLという資

納得のいく道を選んで追求した大学生活。そこで得た経験を私なりの英語教育に生かしていきたいです。



格を取ることが目的だったのですが、政治や宗教問題に関する配慮など、日本とは異なる視点から英語教育について学ぶことができて良かったです」。

日本の教員免許に加えて取得したさまざまな資格や、努力して身に付けた知識や経験を、今後どのように生かしていきたいですか？ 「卒業後は、高校の英語教員になります。英語を話したい、使いたいと思う生徒を増やすためのアプローチはもちろんですが、私が海外で出会った

人たちのように、自分の意見や個性を自由に表現できる生徒を育てていきたいとも思っています」。



カンボジアにある日本語学校でのインターシップで、日本文化紹介の一環としてそめん流しを行った時の様子。

大変だった実習の日々も 友人たちと励まし合いながら 専門医療を学ぶために大学院へ

母の出産の時、付きっきりでケアし、活躍する助産師さんがかっこよくて、進路を助産師に決めました。



入学時の私 /

医学部保健学科 卒業 春田優菜さん

看

護学専攻の春田優菜さんは助産師を目指しています。今年の看護師国家試験は、新型コロナの感染拡大を受けて直前に会場が福岡から長崎に変更され、大慌てだったそうです。とはいえ、試験後「結果はまだですが、恐らく大丈夫だと思います」とにっこり。春田さんが進路を助産師に定めたきっかけは、小学生の時の出来事でした。「私が10歳の時に弟が生まれ、その出産に立ち会うことができました。助産

師さんが付きっきりで母の介助をしてくれたのですが、それがとってもかっこいい！ それまでは医師を夢見ていたのですが、患者さんとのコミュニケーションをより密にする助産師の仕事は、私の性格にも合っていると思いました」。そうして入った医学部保健学科、4年間の学びはどうでしたか？ 「医療の基礎知識をはじめ、新生児の扱い方やお母さんの体の変化などについても学ぶのですが、やはり何と

いっても大学病院での実習が一番大変かつ印象深いものでした。3年次の9月から2週間ずついろいろな科を回ります。母性という実習領域では、入院するお母さんに1週間付いて、外来の患者さん対応も1週間。大学病院なので、母子に問題やリスクがあるケースが多く、患者さんやデータなど診るべきことや一歩引いて観察すべきことが多く大変でした。朝早くから夕方まで病院にいて、帰宅後は記録に取り掛かり、睡眠時間が2、3時間なんてこともあり、友人と毎日「きついなあ」、「行っただけ行こう!」と励まし合っていました。それだけに、患者さんから「ありがとう」と言っていた際には救われる思いでした」。

医療を長崎大学で学ぶ意義はどのような点だと思いますか？ 「看護師の勉強は専門学校や短大などでもできますが、私にはちょっと短くて。長崎大学で4年間みっちり学ぶことで土台を積み上げられるし、将来はNICU(新生児集中治療室)などでも働いてみたいので、高度な専門医療を大学院で学ぶ道を選びました。しっかりしたエビデンスをもって患者さん向き合えるスペシャリストを目指します」。

実習を通して、お産だけでなくお母さんの心のケアも助産師の役割の一つであることを改めて実感しました。



HARUTA Yuna



看護学専攻の仲間たちと。「友人の中には保健師を目指す人も多くいます。長崎は離島が多いので、地域医療を支える専門分野の先生もいます。大学院(修士課程)に新しく保健師養成コースもできました」。



医学部 保健学科HP

前向きにやりたいことに 自分から挑戦することで 志を持った仲間と出会う

入学当初は当たり前だと思っていた学びの環境とプログラム。4年次頃に、あらためてその高い充実度に気付きました!



入学時の私 /

医学部医学科 卒業 大熊 怜さん

OKUMA Rei

医

学部医学科を卒業した大熊怜さんは、医学的な専門知識を生かしてグローバル社会での活躍を目指す国際枠で入学しました。「国際的な行政医療に携わる医師を育成するプログラムが魅力的で、地元の福岡から長崎大学に来ました。医学部には、かつてWHOで働いていた先生方がいたり、実践的な英語を学ぶ講義が充実していたり、恵まれた環境だと思います。印象的だったのは、1年次に参加した福島県での論文発表会や現地視察です。震災から5年という時期に直接足を運ぶ貴重な機会となりました。それがきっかけで、研究室に所属して学ぶ3年次のリサーチセミナーでは、ベラルーシ共和国の医科大学の研究室を選択しました」。

現地での活動内容を教えてください。「私が留学したのは、かつてチェルノブイリ原発事故で大きな影響を受けた街の大学です。そこで医学生を対象に、放射能や原発をどのように感じているかアンケート調査を実施し、今でも恐怖感が残る実態が垣間見えました。ただ、語学の部分では苦勞も多く、病院のシステムや制度も日本と大きく異なり、もっと知識と経験を身に付けたいと思うきっかけになりました」。

4年次からは病院での実習も開始。忙しい学生生活という印象です。「そうですね。サークルもソフトテニス部に所属して、勉強との両立に苦勞しましたが、西日本の医学部の大会でベ

3年次のリサーチセミナーは長崎大学ならではの。早い段階で海外の大学の研究室も選択できることはとても貴重です。



「医療現場で活躍できる実力をつけ

て、その後は大学院での研究も経験し、その先の大きな目標としてグローバルな医療への貢献を目指します」。



3年次の海外インターンで、ベラルーシ共和国の大学へ留学した大熊さん。日本と異なる医療システムや制度、環境を体感する中でモチベーションも高まりました。



医学部 医学科HP

専門分野にとらわれず チャレンジした取り組みが 夢に近づくプロセスに

大学は活動的な人がたくさんいる場所。興味を持ったら飛び込んでみよう! と考えるようになりました。



入学時の私 /

薬学部薬科学科 卒業 馬場大暉さん

「研究にとどまらず、開発した薬を世の中に送り出すところまで一貫して携わる研究者が目標」と話す馬場大暉さん。3年次後期で研究室配属になる以前から、いろいろな論文を読んで研究準備を整えていました。昨年開催された「第14回プロテインホスファターゼ国際カンファレンス」では、学部学生ポスター賞を受賞したそうですね。

「はい。取り組んでみたいテーマに大学で出会うことができ、研究に没頭でき

る環境にも恵まれました。その結果、発表のチャンスももらい、評価にも結び付いたと思っています。テーマの発掘から成果に至るまで、一連のプロセスを経験できたことがとても印象的です」。

発表したミトコンドリアに関する研究とは、どのようなものなのでしょう。

「ミトコンドリアは、細胞の中で大変重要な役割を持つ器官として知られています。人間は一つ一つの細胞からできていて、健康な体を維持するためには細胞が正常な状態になればなりま

せん。今回の研究では、細胞がミトコンドリアの健康を維持するメカニズムの一つを明らかにしました」。

起業意欲にあふれる県内の学生を対象にした「長崎学生ビジネスプランコンテスト2020」に参加するなど、専門外の活動にも力を入れたのはなぜですか。

「STUDY FOR TWO(SFT)長崎大学支部というボランティア団体の活動で出会った友人の影響が大きいです。友人は起業家を目指すアクティブな人。僕自身、夢をかなえるためには起業という選択肢もあると思いました。その友人や工学部の学生と協力して、コロナ禍の影響で休校になった鹿児島県内の小中学生を対象に、ウイルスや新型コロナウイルス感染症について学べるインターネット講座を企画・運営したり、専門外の仲間とコミュニケーションを深めたりすることで、開ける道があることに気がきました」。

卒業後は大学院に進むそうですね。「大学院修了後も研究を継続し、自身の研究を通じて病気の治療薬の開発と供給を実現したいです。研究者と起業家の両立を視野に入れています」。



不要になった教科書などを販売し、その売り上げを東南アジアの子どもの支援につなげるSFT。馬場さんも現地で活動しました。

子どもの頃に大病を患った経験が夢の原点。苦しみや不安を取り除く薬の開発を目指して、日夜研究に励んでいます。



BABA Taiki

薬学部HP



高齢化に対応した知識と技術 親しみやすい人間性を備えた 理想の歯科医師を目指す

家族や周囲への感謝の気持ちから、歯科医師として恩返しすることを決意。しかし入学当初の勉強は手探り状態!



入学時の私 /

歯学部 卒業 美馬康太郎さん

歯学部HP



MIMA Koutarou

将来は歯科医師を目指す美馬康太郎さん。もともとご実家が歯科医院を営んでいることもあり、小さい頃から身近な職業でした。

「大学選びで将来のことを考え始めた時期に、あらためて父が仕事をする姿を見ました。たくさんの方から『ありがとう』と感謝されているのを目の当たりにして、自分も人のために働きたいという気持ちが強くなり、歯科医師という仕事を目指すようになりました」。

実際の講義内容はいかがでしたか。「口腔内のことはもちろん、体の構造なども含めて予想以上に勉強する分野が幅広く、入学当初は何をどう学べばいいのか分からない状態でした。その解決の糸口となったのは、友人や先生方の存在です。どんな勉強方法が効率的なのか相談しながら学んでいきました。また、1年次から歯科病院を見学する機会にも恵まれました。僕は徳島出身ですが、長崎の患者さんやお医者さんは穏やかで優しい印象です。以前から、誰とでも親しくなれる歯医者さんが理想像だったので、目標へのイメージがどんどん具体化していきました」。

歯科医師という夢に向かって一直線ですね。

「それが実は、3年次で勉強に慣れていつの間にか気持ちが緩んでしまい、大事な講義の単位を落としてしまったんです。卒業まであと3年という期間に油断して足をすくわれたというか。それがきっかけで気持ちを入れ直し、集中

5年次で受ける歯学共用試験のCBTとOSCEでは、1年次からの知識の積み重ねが必要。コツコツ勉強しておきましょう。



して勉強に打ち込みました。そして5年次のCBT・OSCE(全国共通の歯学共用試験)も無事にクリアし、実習に参加できました。今年の春からは長崎大学病院で研修医として新しいスタートを切ります」。

将来はご実家の歯科医院を継ぐ予定ですか。

「生まれ育った場所で、親孝行したい気持ちはありますが、まだまだ知識不足です。それに学部で学ぶ中で高齢者の口腔ケアへのニーズの高まりを感

じることもあり、今後は大学院も視野に入れながら、さらなる専門知識の修得を目指していきたいです」。



実習の一環として、与論島の歯科医院を訪問。新型コロナウイルスの影響で実習内容も制限されましたが、貴重な現場経験を積むことができました。

周りに流されることなく 大学での学びや体験を通して 自分に合った研究分野を選択

入学当時は進路に迷いもありましたが、学びながらじっくり考えることで方向性を決めることができました！



＼入学時の私／

工学部 卒業 濱本祐夏さん

工 学部の化学・物質工学コースで4年間学び、この春から大学院でさらに研究を深める予定の濱本祐夏さん。どのようにして自分に合った研究分野を決めていったのでしょうか。

「高校時代から化学が得意で、コースはすんなりと選べました。そこから具体的にどの分野を研究するのか決めかねて、いろいろな講義を受けて考えることにしました。ただ、入学時から方向性が定まった学生も多く、1、2年次

は焦りを感じることもありました」。決め手になった出来事はありますか。

「3年次からの学生実験です。4年次で研究室を決める前に、各分野の研究室の実験を一通り体験する機会があり、研究内容の具体的なイメージがつかめました。またティーチングアシスタントとして参加している先輩方から、研究室の雰囲気や実験の体験談、就職活動について聞くことができ、自分の進路の判断材料となりました。私は有機生命化学研究室に入り、薬理活性

を持つ化合物の合成についての研究に取り組んでいます」。

研究分野が定まってくると、学びへの意欲も高まったのではないですか。

「はい。これまでの座学とは異なる実験はとても新鮮でワクワクしました。その一方で、思った以上にハードな面も感じて。器具の操作は繊細で難しく、なおかつミリの精度を求められます。最初のうちは気を張り過ぎてどっと疲れていましたが、研究室の先生方の手厚いサポートもあり、学生同士でも協力して研究を進めていきました」。

さまざまな人との関わりも大学ならではの経験ですね。

「そうした部分では、工学祭実行委員会での活動は大きな経験でした。学園祭で工学分野にちなんだブースを出展するサークルで、異なるコースの学生と知り合う機会となりました。2年次では中心になって出展の企画や準備を進め、その中でコミュニケーション力が身に付きました」。

今後の目標はありますか。

「まずは大学院でしっかり研究に取り組んで、卒業後は化粧品などの化学メーカーに就職したいと思います」。



学園祭では、工学部らしい工夫を凝らした出展を企画。普段は接する機会が少ないコースの学生と一緒に企画することが、新たな視点を得ることにつながりました。

実験を通して専門分野の理解が深まり、進みたい道が少しずつ見えてきました。将来は化学メーカーでの活躍が目標です。

HAMAMOTO Yuka

工学部HP



将来が見えない葛藤の日々 社会人の生の声に触れて なりたいたい自分を見つけた

就職について悩んでいた日々。メンターとして相談に乗ってくれた先輩にも、ずいぶん支えてもらいました。



＼入学時の私／

経済学部 卒業 田中真能さん

TANAKA Mano

経済学部HP



長 崎県庁に入庁が決まりすがすがしい表情の田中真能さん。当初考えていた卒業後の進路は、民間企業だったそうです。「自分は何をしたいのだろう」と自問する日々の中、専門知識を生かし社会が抱える課題を解決できる人材を育成する「ビジネス実践力育成プログラム」や、ゼミ活動、企業インターンシップを経験。「解決の糸口を見つけるヒントになった」と振り返ります。印象的だった取り組みとは？

「たくさんあります。例えば、グループワーク自体はゼミの中で頻繁に行っていたものの、長崎市の総合計画に関するオンラインワークショップは、市役所の職員の方々と共に実践に近い形式で行う初めての体験でした。私はテーブルファシリテーターでもあったので、しっかり事前準備を整えて臨みました。グループにはベテランから若手まで、部署の垣根を越えて幅広い層の方々がいらっしゃったのですが、役職にとらわれず意見や指摘が交わされ、この街を良くしたいという皆さんの熱い思いに心を動かされました」。

インターンシップにも積極的に参加したそうですね。

「はい。民間企業だけで10社くらいでしょうか。それでもやりたいことを見つけられず。国家公務員のインターンシップに参加した時、その場にいた学生の発言力や知識量の豊富さに衝撃を受けて、公務員について調べるようになりました。企業研究をしていた時よ

ディスカッションや企業体験など、大学で得た学びの実践はこれからは本番。故郷の力になれる社会人を目指します。



り没頭でき、公務員になった自分のイメージを広げることができたんです」。

その後、地方公務員と国家公務員の採用試験を受験し、いずれも合格した田中さん。地方公務員を選んだのはなぜでしょう。「働くなら地元がいいと思っていたので、国家公務員になったとしても先々は長崎に帰ってくるつもりでした。それならずっとこの街にしよう、故郷を元気にするために頑張ろうと決めました。若者の定着率促進など興味深い分野はありますが、それだけに

執着せず幅広く取り組みたいです」。大学の学びを生かすのはもちろん、持ち前の笑顔と行動力で未来を切り開いてくれる日を待っています。



全学バレー部の試合で各地へ。2年次の春休みにはカナダ短期留学も経験。「意識が変わるので海外経験はお勧めです」。

沸き起こる好奇心を信じて 何でもチャレンジしながら 高校生を指導する道へ

さまざまな地域から学生が集まる水産学部。それぞれ異なる得意分野や目標があり、話を聞くのがとても楽しいです！



＼入学時の私／

水産学部 卒業 生田結衣さん

水

産学部をこの春卒業した生田結衣さんは、後期入試で長崎大学に入学。広島県出身で、もともとは別の大学を目指していました。

「同じ生物系の専門科目を学べる大学でしたが、最初は落ちたことがショックでした。でも振り返ると、長崎での4年間が本当に充実していて、今は来て良かったと心の底から思います。水産学部のカリキュラムは実験と乗船実習が特徴で、実際に海で生物採取を行って

スケッチや解剖をしたり、船での生活を知ったり、初めてのことで楽しくしながら学んでいきました。2年次ではもともと興味があった海洋生物学コースに進み、その後の卒業研究では、アミハギの遺伝子および形態の違いについて調べました。

初めてのことで、自分から積極的に参加するタイプだったんですね。

「せっかく長崎に来たので、自分の好奇心に従ってどんどん行動しようと思ったんです。そんな気持ちで入部し

た水産学部の女子カッター部ですが、日々の練習からとても大変でした。早朝5時から船をこいだり、大会前は週6日練習したり。その分メンタル面は強くなりましたし、全国大会では準優勝という成績を残すことができ、終わり良ければすべて良しというか(笑)、きつい練習もすべて思い出になりました。また、一緒に部活動に打ち込んだ仲間との絆はかけがえのないものです。

卒業後の進路は、高校の理科教員とのこと。どんな理由なのでしょう。

「教育以外の専門知識を身に付けて教員になるという進路にも興味があり、迷っていた時期もありました。気持ちを後押ししてくれたのは、アルバイト先で出会った高校教員の方です。いつも楽しそうに学校の話がされていて、教員免許取得を目指していた私に「楽しいことも苦しいことも、自分の経験を子どもたちに伝えられるのは恵まれた仕事だよ」とアドバイスしてくれました。就職先は広島県の高校ですが、すてきな経験ができた長崎県で働いてみたい気持ちもあるくらい、思い入れのある場所になりました。」

受験や何かに失敗しても、プラスにしていく気持ちが大切です。私もなるようになって思っているいろいろなことに挑戦しました。



IKUTA Yui



水産学部ならではの活動内容に興味を感じて入部した女子カッター部。生田さんはキャプテンを務め、仲間と切磋琢磨して厳しい練習に励みました。

水産学部HP



文系だけでなく理系も学べる 文理融合スタイル 「やりたいこと」をさらに深掘り

中学生の頃からサンゴ礁の白化現象や海辺のごみ拾い活動に興味があり、環境問題を仕事にできればと考えました。



＼入学時の私／

環境科学部 卒業 島尻香奈さん

SHIMAJIRI Kana

環境科学部HP



沖

縄出身の島尻香奈さんは、環境問題に関心があり、一方でまちづくりや地域政策にも興味があったことから、それらを学べる大学を探すうち、長崎大学の環境科学部に会いました。

「特に文理融合に魅かれました。私は文系入試から入ったのですが、生物多様性や水環境の授業など理系分野の事柄を学ぶことができたのが良かったです。環境問題やまちづくりは、理系的なアプローチも大切ですから。」

もう一つ、環境科学部といえば、フィールドワークが大きな特徴です。

「雲仙のミヤマキリシマの花の保全活動や、東彼杵町のグリーンティーズムというお茶を用いた観光開発に関わることができたのは印象的でした。特に東彼杵町は、空き家活用などで若い世代がとても積極的。「次はこういうことをやろう」と前向きな空気が自然と醸成されていることを目の当たりにしました。インターンでは、宮城県の南三陸町で1か月間水産加工に関わりました。見栄えが悪く出荷できないウニが廃棄されるのを見て、パスタやフォンデュに活用できるオリジナルのウニソースを考案したところ、「若いあなたらしい発想」と企業の方に喜ばれました。しかし、加工段階で保存料を入れなければならず、無添加にこだわる企業はほとんど踏み切れませんでした。発想だけでなく、技術的にクリアする課題があることも勉強になりました。」

ところで、島尻さんは北九州市役所



環境未来都市として新しい事業にも取り組む北九州市で、卒論でも取り組んだ海産物の6次産業化に貢献してみたいですね。

に内定しています。自身の就職活動を終えると、今度は後輩のために公務員試験のレクチャーを買って出たそうですね。

「環境科学部は、公益性の高い仕事に就きたい人や、公共事業に携わりたいという思いを持つ学生が多いので、公務員以外にも一般社団法人や独立行政法人といった専門性の高い組織にアプローチする方法などを伝えました。自分が経験したことを生かしてほしくて。就活の幅が広がったという声をも

らって、うれしかったです。」

もうすでに、公益性を大切にしている資質が身に付いている島尻さんなのでした。



インターンシップで訪れた南三陸町で漁業を体験している島尻さん。豊かな海産資源を生かすべく、奮闘しました。

福島が経験した 複合災害を伝承 （一人一人の歴史・証言を保存）

長崎大学 原爆後障害医療研究所教授／長崎大学 福島未来創造支援研究センターセンター長
東日本大震災・原子力災害伝承館館長

高村昇 教授

巨大地震・津波・原子力災害という複合災害を教訓として伝える

「東日本大震災・原子力災害伝承館」が、福島県双葉町に開館しました。

館長を務める高村昇教授は、

「災害に立ち向かい、今もなお復興に取り組む人々の思いを知ってほしい」と話します。

災害にどう 立ち向かったかを展示

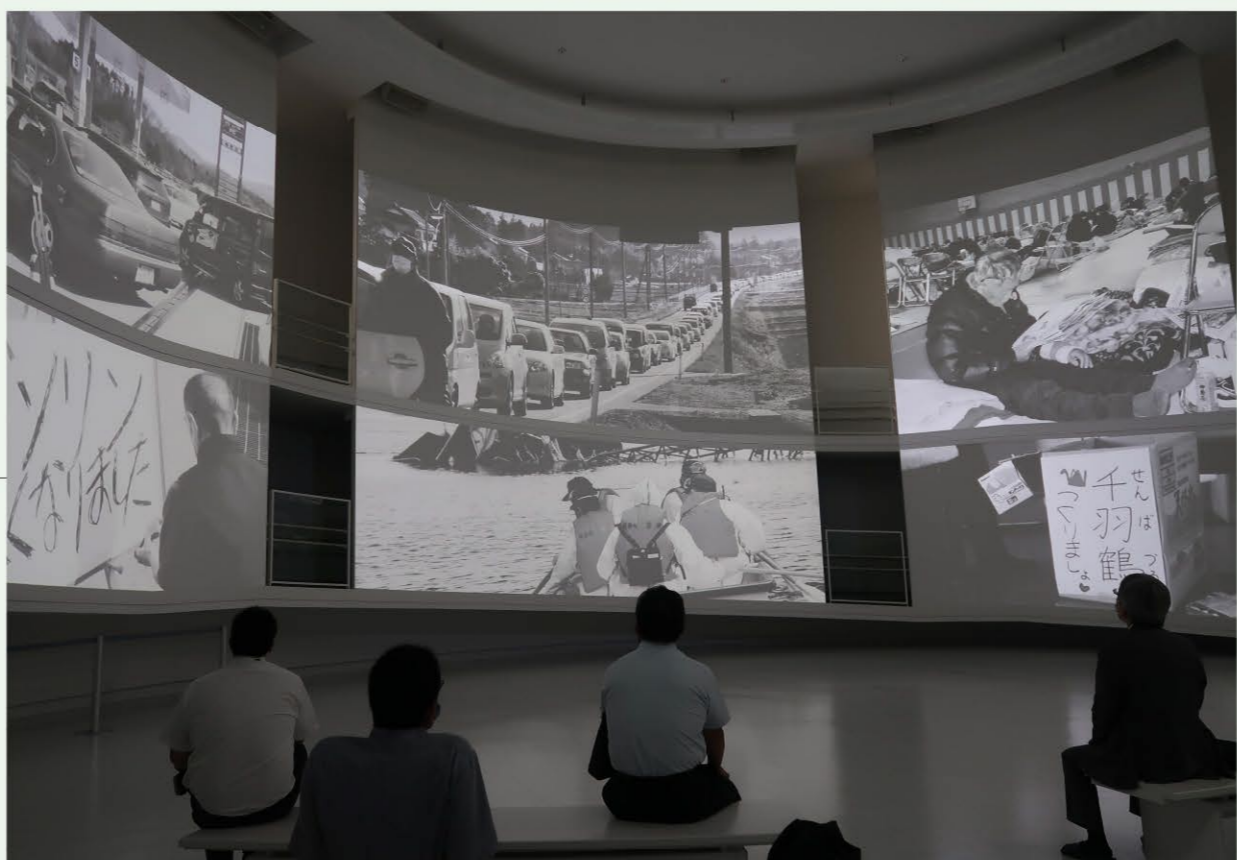
二〇二〇年九月二十日、福島県双葉町に「東日本大震災・原子力災害伝承館」が開館しました。この伝承館は、福島が経験した地震・津波・原子力災害という前例のない複合災害の記録と記憶を、今後の防災や減災の教訓として伝えることを目的としています。地上三階建て、延床面積五千二百五十六平方メートルで、全面ガラス張りのカーブを描いた外観が特徴です。

伝承館は、「未来への継承・世界との共有」、「防災・減災」、「復興の加速化への寄与」の三つの基本理念を掲げ、館内を「プロローグ」、「災害の始まり」、「原子力発電所事故直後の対応」、「県民の想い」、「長期化する原子力災害の影響」、「復興への挑戦」の六つのエリアに分けています。プロローグでは、地震・津波・原子力災害発生当時の映像をアニメーションと組み合わせて、複合災害の実態と未来について考える導入部として

います。他の五つのエリアには、それぞれのテーマに合わせて、福島県が収集した約二十四万点の資料のうち約二百点を展示しています。資料には、国内外からの応援メッセージ、さまざまなイベントで配布されたプリントなどの紙資料、震災直後の映像やデジタルデータ、フィルムなども含めた写真資料、さらには川内村で避難を促した防災無線などの音声データも含まれています。これらの資料を通して、複合災害がもたらしたものの、そして復興の過程を知ることができ



東日本大震災・原子力災害伝承館



館内写真／出典：東日本大震災・原子力災害伝承館

展示の導入として、震災前の地域の生活、地震・津波そして原子力発電所事故の発生から住民避難、復興や廃炉に向けた取り組みについての映像を投影。

語り部の講話で 災害の風化を防ぐ

被災者の生の声を聞く「語り部講話」も行っています。震災と原発事故の記録は、展示されている資料がすべてではありません。複合災害とその後の混乱を経験した人たちの話を聞くことで、震災や原発事故についてより詳しく知るきっかけにしてほしいと思いますし、話を聞いた人が当時を追体験することで、災害の風化を防ぐことができると考えています。

伝承館では、福島での複合災害への対応や、復旧・復興の経験と記録を教訓として体系化するとともに、さまざまな形で情報発信することで復興や防災を担う人材の育成を図るための調査・研究事業を行う予定です。具体的な研究テーマについてはこれから議論を深めていきますが、複合災害から得られた教訓を世代を超えて継承するために必要不可欠な事業

と考えています。

福島が歩んできたこの十年は、震災と原発事故の発生、混乱、避難、収束、除染、帰還、復興と、これまで誰も経験したことのないことばかりでした。伝承館では、今後も一人一人が複合災害にどう立ち向かい、復興にどう取り組んでいるのか、「生の声」のアーカイブ化を続け、来館者が「誰も経験したことのないことが起きたんだ」と思える場になるよう努めていきます。

各町村の状況に沿って 支援を継続

自治体の支援も引き続き行っていきます。いち早く全村帰還を宣言した川内村では、帰村前から環境放射線モニタリングを行い、その後は戻ってきた村民が安心して暮らせるようリスクコミュニケーションを積み重ねるなどの支援をしてき



原子力災害の経過を時系列でたどる。



困難を乗り越え復興に挑戦する福島県の姿を紹介する展示ブース。

ました。二〇一三年には川内村と長崎大学が包括連携協定を結び、復興推進拠点を設置しました。二〇一六年には隣接する富岡町と、二〇二〇年には大熊町とそれぞれ包括連携協定を締結し、復興支援を行っています。ただ、町村によって復興の過程はまったく異なり、それぞれの状況に沿った復興への取り組みと支援が求められます。川内村の居住人口は震災前の約八割まで回復しました。しかし、富岡町は震災前の一割弱の千五百人しか帰還しておらず、大熊町は数百人です。伝承館のある双葉町は、現在も大部分が帰還困難区域で、帰還は始まっていません。長大は、それぞれの町や地区の状況を把握し、役場のマンパワーなども考慮しながら、支援を続けていきます。福島ではいまだ三万人以上が避難生活を余儀なくされています。震災から十年の節目を迎えましたが、復興に終わりはありません。各自治体の支援を継続する一方で、伝承館の活動を通じて、現在福島で取り組みが進む「福島イノベーション・コースト構想」の一翼を担っていききたいと思





植物への影響を通して 長崎の大気汚染状況を知る

長崎県は日本列島の西の端。海に向かうには中国大陸が控えています。この長崎ならではの地の利を生かした基礎研究が環境科学部で行われています。山口真弘准教授と中山智喜准教授は、越境大気汚染について数年かけて調査中です。山口先生に聞きました。

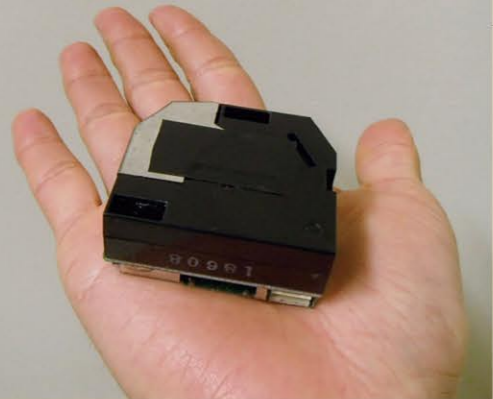
「まず、この二枚の写真(①②)を見比べてみてください。これはどちらも晴れた日の長崎の写真です。①と比べて②はずいぶん視界が悪いですね。長崎などの九州北部では、このような越境大気汚染が冬から春先にかけて顕著であり、光化学オキシダント(O₃)やPM_{2.5}と呼ばれる微小粒子状物質の濃度が高くなります。長崎はその調査を行うのに適したフィールドです」。

「ずいぶん違うものですね。ここ数年はPM_{2.5}の情報が天気予報でも発表されます。そうですね。県下では十八カ所で測定されていますが、人間の健康影響に着目

手のひらセンサーを設置して 大気汚染の動きを把握する

大気汚染をまた違う側面から研究する中山先生は、マッチ箱サイズの黒い箱を見せてくれました。

「これは実は、PM_{2.5}を測定する装置です。私は、パナソニックと、この小型で安価なPM_{2.5}センサーを共同開発しました。PM_{2.5}は、空気中に浮かんでいる直径2.5ミクロン以下の粒子のことで、肺の奥深くまで到達して健康に悪影響を及ぼします。屋外に簡単に設置でき、数分という短い時間隔で正確な測定ができるので、福江島、対馬、雲仙・妙見岳などの県内各所に加えて、韓国の済州島などにもこの装置を多数設置しています。大陸から長崎までの広域の測定から、大陸起源のPM_{2.5}が西風によって流れてくる方向と速さを明らかにし、



これが小型PM_{2.5}センサー。首から下げて歩きながら測定することもできます。

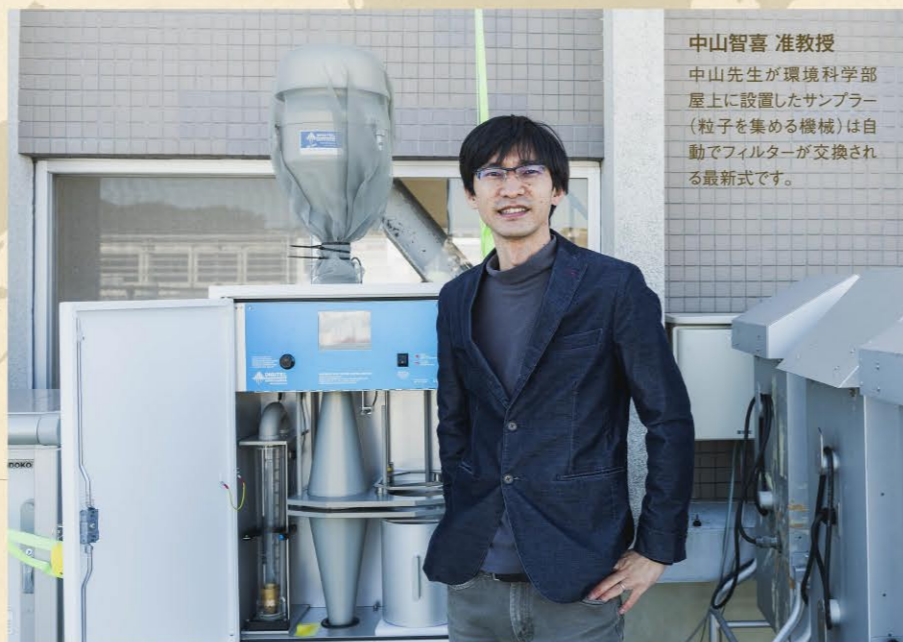
長崎大学 環境科学部 屋上からの写真



写真①/2014年6月
O₃濃度: 36 ppb PM_{2.5}濃度: 9 μg m⁻³
(2014年6月6日9時38分)



写真②/2015年3月
O₃濃度: 83 ppb PM_{2.5}濃度: 133 μg m⁻³
(2015年3月22日13時13分)



中山智喜 准教授
中山先生が環境科学部屋上に設置したサンプラー(粒子を集める機械)は自動でフィルターが交換される最新式です。



山口真弘 准教授
山口先生のそばにあるのがオープントップチャンバー。空気浄化フィルターのあるチャンバーとないチャンバーで、植物に対する光化学オキシダントの影響を調査できます。

目に見えない空気を“読む” 越境大気汚染の 解明への取り組み



して観測をしています。しかし、大気汚染物質は植物にも悪影響を及ぼします。その中で私は主にO₃に着目してその植物影響を調べています。調査地はこの環境科学部の屋上。透明のフィルムで囲われた植物栽培用のオープントップチャンパーという装置を使います。この中に空気を送り込みながら植物を栽培しますが、空気浄化(O₃除去)フィルターを通してきれいな空気で栽培した植物と、汚染された外の空気で栽培した植物は、比べてみると色や収量がずいぶん違うのです。このような越境大気汚染の影響が、コムギ、ジャガイモ、ハツカダイコンなど、さまざまな作物に出ていることが分かっています。その影響のメカニズムも調べていますが、これは今後、障害に強い品種の開発にもつながっていくと考えています」。

九州の暑さに強いお米の品種が話題になっていますね。

「「にこまる」や「なつほのか」ですね。環境を改善することがまずは大切なのですが、同時に厳しい環境に強い品種の開発も重要です。そのために、さまざまな環境条件で栽培した作物の実験データが求められて、現在、気温上昇や二酸化炭素濃度上昇の影響評価実験も行っています」。

風下地点への到達時刻を推定する研究を進めています。また、妙見岳の山頂から麓の小浜温泉までの標高の異なる複数地点で測定することで、高さによる濃度の違いもわかってきました」。

新型コロナウイルスで、各国で都市封鎖が行われた昨年春、やはり数値に影響があったのですか？

「インドやナイジェリアなど大気汚染が深刻な途上国でも、海外の研究者と共同でこのセンサーを用いた観測を行っています。インドでは、工場や自動車からの排出が減少した一時期、大気の状態がとても良くなりました。ほとんど観測がなされていなくなった。ほとんど観測がなされなくなることによって、人々の健康被害の低減につながればと考えています」。

水産学部の練習船である長崎丸と鶴洋丸にも設置しているんですね。

「はい、九州と大陸の中間の洋上の貴重なデータが得られます。これら各地における設置や測定には学生も参加し、卒業研究にしています。また、文教キャンパスでは、太陽光を吸収して地球温暖化に影響を及ぼしている空気中の黒色や黄色の微粒子の光吸収量や化学成分を解明する観測も行っています」。

目に見えない空気から何かを読み取り解き明かす作業は今後も地道に続き、よりよい環境の実現に貢献できる学生が育っていくことになりました。



ハツカダイコン。左が汚染された外の空気で栽培、右が空気浄化フィルターを通して栽培。

私は、中学校の社会科、高校の地理歴史科、公民科といった社会系教科の教師を目指す学生を指導しています。こう言うと地理学や歴史学などが専門だと思われがちですが、専門は社会科学教育です。これは学校の社会系教科での社会認識形成・公民的資質育成に関する学問で、研究は多岐にわたります。

学校で誰もが学ぶ社会系教科ですが、教科の目標を知っているでしょうか。文部科学省が定める学習指導要領を見ると、最終段階の高校での目標は「主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力」の育成とされています。簡潔には、よりよい社会をつくる公民育成を目指していると言えるでしょう。

この目標に対しては、社会の常識や学問の知識を知る教科ではないのか、さらに受験で必要な知識を知る教科だと、違和感を覚える人も多いようです。これは、「社会を知る」、「社会が分かる」、「社会をつくる」ことに関わる社会系教科について、一つ目を強く意識した考えです。二

つ目は、問題構築に関する「水俣病の認知」について判断、議論します。

では、被害者や支援者、原因企業や業界団体、地域住民、研究者、行政や司法、マスコミ、世論のさまざまな働きかけや相互作用、それらの結果生じた状況などを知り、さらに、各自で参考になることを考えます。

潜伏キリシタン 関連遺産の授業開発

実践的な研究では、小・中学校の先生との連携・協力もしています。その一つに、世界文化遺産に登録さ

社会科教育の 観点から分析する 多様な社会問題

つ目、三つ目が意識されないことを反省し、社会科学教育では近年、社会問題学習の研究が盛んです。

社会問題学習の研究

社会問題学習では、社会問題の知識を知るだけでなく、知ったことをさまざまな知識等と関連付け、考察して分かるようにし、さらに分かったことを生かして判断し、社会をつくることに関わろうとします。

ただし、授業の在り方は一様ではありません。社会問題と言っても、危険や衰退など誰もが課題とする政策問題もあれば、価値の対立から生じる論争問題もあります。交通事故多発などは政策問題、消費税増税の是非などは論争問題と言えます。その他、大半の人は問題としない状況や制度に、一部が異議申し立てする問題構築も社会問題の一つです。

学習方法でも、此処・現在の問題の直接研究や、他所・過去から学ぶれた、潜伏キリシタン関連遺産を教材とする授業開発があります。

この遺産は、長崎県各地に構成資産がありますが、県内でも馴染みの薄い人が多い状況でした。そこで、長崎県世界遺産登録推進課（現在は世界遺産課）が、遺産を教材とする授業の開発・普及を目指し、大学教員の筆者と附属小学校の安田一義先生が協力することになりました。

県、大学教員、小学校教員の三者は、もともと異なる関心を持っていました。県の関心は遺産への注目であり、大学教員は地域に関する社会問題学習や三者の協力の在り方について、小学校教員は新たな教材での授業開発や地域に生きる子どもたちの成長について関心がありました。また、当初はどの学年のどこで扱うかも未定でした。そして、各地の構成資産を網羅的に扱うのか、いずれかに焦点を絞るかも、考えが違いました。

その後、話し合いを重ね、さまざまな合意に至りました。まず合意したのは、四年生の地域学習で扱うことです。時間をかけたプロジェクト型の学習が組織しやすく、また長崎の先生方の授業開発で、より参考にしてもらえる

間接研究があります。社会をつくることに関わる場合、教室内で提案や議論などするか、現実社会で活動まで行うか、違いがあります。

これら多様な社会問題と学習方法を組み合わせると、特色あるさまざまな授業が存在し、私もこうした授業の理論的な研究をしています。

一方で、間接研究重視の具体的な授業を開発・実践するなど、実践的な研究もしてきました。

開発の例として、政策問題を扱う授業「アフリカの食料問題」では、問題をアフリカの自然、人口、経済、政治、社会と関連付け、そして世界的な食糧生産、消費、流通とも関連付け考察します。さらに、考察を参考に日本社会のことも考えます。

論争問題の授業「原発政策」では、フランスの原発推進政策を国内経済の安定や地球環境の保護と関連付け、そしてイタリアの推進見直しを人々の安全の保障と関連付けて考

と考えました。そして、学習指導要領の内容「県内の伝統や文化、先人の働き」に基づきながら、さらに発展的に社会問題学習も行うことにしました。具体的には、構成資産である外海の出津集落に注目し、その発展に尽くしたド・ロ神父の努力などの理解、遺産継承や世界文化遺産登録への人々の願いなどの理解を目指しました。さらに発展的に「潜伏キリシタン関連遺産に多くの観光客は必要か」を判断するようにしました。

具体的な授業計画の開発と実践は、安田先生が主に担当し、県や大学教員は支援を行い、こうして全十三時間の授業実践ができました。子どもたちの関心も高まり、最後は当初予定になかった長崎県庁での世界文化遺産提案会を行いました。授業はテレビや新聞などでたびたび取り上げられ、地域における遺産への注目にも貢献できたと考えています。

その後、県内の学校で普及が図られ、大学でも学生が新たな授業開発に取り組んでいます。また、三者の協力や県内での普及に関して、学会発表も行いました。

こうした連携・協力は、興味深い知見や経験、新たな成果をもたらす貴重な機会となっています。

潜伏キリシタン関連遺産を教材にした 授業計画の開発と実践

Text by DOHI Daijro



全13回の授業実践では、構成資産の一つ「外海の出津集落」を大きく取り上げました。



土肥大次郎 准教授

長崎大学大学院教育学研究科准教授。広島大学教育学部卒業。広島大学大学院教育学研究科博士課程前期修了。広島市立舟入高等学校教諭。広島大学附属福山中高等学校教諭。長崎大学教育学部准教授を経て、二〇一六年より現職。専門は社会科学教育。

空も飛べそうな美しい「羽」

長く大きな胸びれがトレードマークのセミホウボウ科の魚。英名を Flying gurnard (空飛ぶホウボウ) といいます。初めて見た方もいるでしょうね。食材としては知名度の低い魚です。世界に二属七種、日本からはそのうち四種が知られています。さて、ホシセミホウボウの少々ずんぐりとした体から長く伸びた美しい胸びれをご覧ください。まるでセミの体から伸びた羽のように見えませんか？そこには「星」がちらばめられたような斑点模様丁寧な描かれていきます。一方、しなやかなひれとは対照的に、頭部は骨質板で、体は硬いところで、全身がっちり覆われています。外見が似ているためにホウボウの仲間だと思われがちですが、ホウボウ科とは内部骨格にかなりの相違があり、遺伝的に遠いグループであることが分かっています。

セミホウボウ科を表す Dactylopteridae は、ギリシア語の dactylus (指) と、 pterygion (ひれ) から「指のあるひれ」を意味します。大きな胸びれは空を飛ぶためにあるのではなく、体の輪郭をぼかし、体を大きく見せるのに効果的。歌手ジュディ・オングさんの「魅せられて」の衣装のように、胸びれを大きく開いた状態で海底近くをゆっくり泳ぎながら、時に

胸びれ前方の先端部分を手のように使い、砂の中にある餌を探します。大きな胸びれに隠れて上からは見えませんが、内側をのぞいてみると、腹びれを交互に使い、海底を歩くように移動している姿があらわに。何ともユーモラスです。

魚図が複数描かれたわけとは？

グラバー図譜には珍しく、ホシセミホウボウ魚図は三枚あります。当時、図譜を編さんした倉場富三郎が魚図に書き込んだ種名はそれぞれ、セミホウボウ、オキセミホウボウ、ホシセミホウボウでした。つまり、すべて別種だと考えたのでしょう。しかし、あらためて魚図に描かれた形態に基づき検討してみると、後頭部に長く伸びた遊離棘と背びれの間に短い遊離棘がないことなどから、三図ともホシセミホウボウと同定できます。富三郎は文献と標本を詳しく調べた上で種名を決定しましたが、たとえ専門家であっても魚の種類を同定するのは難しいことなのです。

二人の画家が描いた魚図

ホシセミホウボウで興味深いのは、すべての構図が極めてよく似ていること。ホシセミホウボウ独特の胸び

江戸時代に川原慶賀が描いた魚図

グラバー図譜の時代からさらに百年近く、一八〇〇年代にさかのぼりましょう。江戸時代、シーボルトらの依頼で出島オランダ商館の絵師を務めた川原慶賀は、当時ヨーロッパで確立された分類学に基づく学術絵図の描き方を直接学びました。その川原慶賀の描いたホシセミホウボウの図とも、小田紫星の魚図は似ているようです。つまり、小田は川原の図を参考にしたのではないかと推測します。中村と同じく小田もまた、独特な形のホシセミホウボウを前に、どう描こうかと思いついたに違いありません。しかし小田は、川原の絵図とは魚体の角度を少し変えて描いたことで、本種の分類形質の一つとなる背びれの前の遊離棘がないことまではっきり確認できる魚図に仕上げられています。

画家たちに焦点を当てれば、また新たな魅力が見えてきます。グラバー図譜に興味は尽きません。



解説 山口敦子
長崎大学水産・環境科学総合研究科教授

YAMAGUCHI Atsuko
東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。2000年から長崎大学。専門はエイやサメなど魚類学と水産資源学の研究。主な著書に「干潟の海に生きる魚たちー有明海の豊かさと危機」(東海大学出版)など。

長崎大学附属図書館のホームページでもご覧いただけます。
<http://oldphoto.lib.nagasaki-u.ac.jp/GloverAtlas/>

「グラバー図譜」は、長崎の実業家であった倉場富三郎氏が編纂したコレクションです。日本四大魚譜の一つといわれています。

グラバー図譜
日本西部及び南部魚類図譜
Fishes of Southern & Western Japan

Glover Atlas ホシセミホウボウ

Daicocus peterseni
画家 中村三郎画(左) / 小田紫星画(右)

長大生の未来を支える

西遊基金

ご支援の
お願い

「西遊基金」は、長崎大学が出島を介した「勉学の地」としての誇りと「進取の精神」を受け継ぎ、地域の持続的発展から地球規模の課題を解決するための傑出した人材育成を目指し、本学独自の修学支援、教育・研究の幅広い支援を目的として開設した基金です。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

長崎大学西遊基金



Nagasaki University Fund
Saiyu Kikin



寄附の
お申込み等は
こちらから



長崎大学 西遊基金 検索

長崎大学
広報戦略本部 校友会・基金室
〒852-8521
長崎県長崎市文教町1-14
TEL.095-819-2976
FAX.095-819-2156
nukikin@ml.nagasaki-u.ac.jp

https://www.nukikin.jimu.nagasaki-u.ac.jp

Nagasaki University Fund Saiyu Kikin

Choho

長崎大学広報誌
[チョーホー]

編集後記

新しい年度がスタートしました。進級、進学、就職、異動や起業など、私たち誰もが、自らの将来に夢や期待を抱きつつ、若干の不安を感じながら一歩を踏み出す季節です。特に、高校3年生の皆さんは、未だ見ぬ、しかも正解のない大学での学びや暮らしをイメージしながら、これから数ヶ月後の進路選択に臨まなければなりません。

そこで今号では、高校生の皆さんが大学生活や大学卒業後の進路をイメージする手助けになればとの思いで、各学部の卒業生に在学中の学びや暮らしを振り返ってもらいました。大学生の自分である学問について、多様な学びの領域や方法があること、学問に加えてサークル、社会貢献、友人関係や就職活動など多様な大学生活の場面があること、紆余曲折しながら多様な進路が選択されていることなどが、卒業生の生の声で描写されています。

Chohoのミッションは、本学の教育や研究などのコト、コトに取り組む学生や教員などのヒトについて高校生の皆さんに伝えることです。今年度も、本学のコトやヒトについて、入試直前まで情報を発信、発信していきます。皆さんの学校に届いたChohoを手にとって、あれこれ自分の将来を想像してみてください！
(山口純哉)

[編集・発行] Choho企画編集会議

編集長

山口 純哉 経済学部 准教授

副編集長

山田 明徳 水産・環境科学総合研究科 准教授
當山 明華 大学教育イノベーションセンター 助教

編集委員

原田 走一郎 多文化社会学部 准教授
牧野 一穂 教育学部 准教授
友澤 悠季 水産・環境科学総合研究科 准教授
弦本 敏行 医学部総合研究科 教授
安武 敦子 工学研究科 教授
馬越 啓介 工学研究科 教授
田中 宏智 学生支援部学生支援課長
松井 史郎 広報戦略本部長 教授
池野 和樹 広報戦略本部 課長
北島有佳子 広報戦略本部 主査
坂本 道亮 広報戦略本部 主任
林田 裕貴 広報戦略本部
北村 春香 広報戦略本部

大口 尚子 編集
川良 真理 編集
藤本 明宏 編集
三浦 秀樹 デザイン

TEL.095-819-2007
FAX.095-819-2156

https://www.nagasaki-u.ac.jp/

Choho(チョーホー) Vol.75
2021年4月1日発行

Choho
アンケート
クイズ



お詫びと訂正

「Choho74号(2021年1月1日発行)」15ページに、下記の誤りがありました。誤ってお詫び申し上げます、下記のように訂正いたします。
(正) COVID-19 Response
(誤) COVIT-19 Response

Information

2021年度 長崎大学公開講座 4月~8月(予定)

※新型コロナウイルス感染防止のため中止、延期の可能性がございます。開催をご確認の上、ご来場ください。

地域の農業から学ぶ栽培技術~高糖度トマトとその作り方~

日時/4月21日(水) 5月19日(水) 6月30日(水)
10:00~12:00、13:00~15:00

場所/長崎大学 附属農場(文教キャンパス内)、その他(現地圃場)

2021年度核兵器廃絶市民講座「核兵器のない世界をめざして」【オンライン同時開催】

日時/2021年6月12日(土) 9月18日(土) 11月13日(土) 12月18日(土) 2022年2月5日(土)
13:30~15:00

場所/長崎原爆資料館ホール、大村市ミライ図書館(11月13日のみ)

第11回附属薬用植物園における薬用植物~暮らしに役立つ薬用植物に楽しく接してみよう~

日時/5月1日(土) 10:00~12:30

場所/長崎大学 薬学部講義室、附属薬用植物園(文教キャンパス内)

「書いて作って数学講座」(春の部)~2次曲線と正多面体~

日時/5月14日(金) 17:30~19:00

場所/長崎大学 教育学部 4階43番講義室(文教キャンパス内)

遺伝学講座18 遺伝について楽しく学ぼう

日時/7月31日(土) 13:30~16:00

場所/長崎大学病院 歯学部 総合教育研究棟1階1D教室(病院エリア内)

- 開催内容・日時などは都合により変更することがありますので、ご了承ください。
- 事前申込が必要な講座がございます。詳細および最新情報は長崎大学公開講座ウェブサイトをご覧ください。
http://www.erc.nagasaki-u.ac.jp/course/open-lecture/lecture_2021.html
- 公開講座全般に関するお問い合わせ先
長崎大学 教育開発推進機構 生涯教育センター TEL.095-819-2233 メール mirai@ml.nagasaki-u.ac.jp

プレゼントクイズ

Chohoの人気コーナー「グラバー図譜」。
編纂者の倉場富三郎の父親は誰でしょう。

- ① ロバート・ウォーカー
- ② ウィリアム・オルト
- ③ トーマス・B・グラバー

広報誌Chohoへのご意見・ご感想をお寄せください。プレゼントのご応募も以下より承ります。①面白かった記事②誌面への意見・感想③今後取り扱ってほしい内容④職業⑤年齢⑥クイズの答え⑦氏名(ふりがな)⑧郵便番号⑨住所⑩電話番号を明記してください。正解者の中から抽選で5名の方に長崎県産品をプレゼント!
◎ハガキ/〒851-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学広報戦略本部 宛
◎FAX 095-819-2156
◎メール kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp ◎または左下のコードから
◎応募締切日/2021年5月末
◎当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます

前号のクイズ

長崎大学附属図書館の代表的なコレクションの中で有形文化財に指定されているものは?

答え/① ボードインアルバム

養生所(後に精進館と改称、長崎大学医学部の前身)の第2代教頭を務めたオランダ人、アントニウス・ボードイン。弟アルベルト・ボードインと協力し、日本滞在中に撮影および収集した古写真アルバム4冊が登録有形文化財に指定されています。

今回のプレゼント

全国有数の漁獲量を誇る長崎県。中でも、五島列島は豊かな漁場に恵まれ、四季折々のおいしい魚が取れることで有名です。今回はそんな五島の定置網で取れた新鮮な地魚を100%使用し、黒こしょう、ハーブ、塩レモンで風味豊かに仕上げたフィッシュハムを詰め合わせました。添加物・油脂類不使用の安心・安全な逸品と、手作りこだわった五島名産・五島巻蒲鉾セットを、正解者の中から5名にお届けします。五島列島が誇る海の恵みをお楽しみください。



五島巻蒲鉾詰め合わせ。4,320円(税込)。「五島のフィッシュハム」は令和元年度長崎県特産品新作展の水産加工品部門で優秀賞を受賞。

提供/株式会社浜口水産(五島市富江町) TEL.0959-86-0032

長崎県物産館 TEL.095-821-6580 http://www.e-nagasaki.com

長崎大学ホームページ

Renewal

長崎大学HPのトップページが2021年4月1日にリニューアルしました。

これまでのHPに比べ、メニューやトピックスが見やすくなり、受験生へ向けたお知らせコーナーも新たに設けました。

トップページ以外のページも、順次更新予定です。旬な情報満載のHPを、ぜひご覧ください。

2021 4.1

NEWアドレス <https://www.nagasaki-u.ac.jp>

これまでのアドレス(<http://www.nagasaki-u.ac.jp>)にsが付きます。

